



正確な情報と真摯な対話は、
強い支持に繋がる！

多摩市議会議員選挙 立候補予定者との対話集会

— 社会教育施設の尊重を市政に望む —

2019年3月31日(日)

事前アンケートの回答 2

2019年3月27日正午以降30日まで到着分

回答ナンバー 誤記訂正 (2019年5月12日)

このアンケートは、現職市議のみなさまと、また新聞折込で入手した資料にもとづいて、現職市議 26 名のみなさまには議員ポストに投函し、かつ e メールアドレスを公開されている方には e メールにて、公開されていない方には FAX にてお送りしました。また現職議員でないみなさまについては、新聞折込チラシで入手した情報から、e メールを公開されている方には e メールで、また、e メールを公開されていない方には掲載されている住所に郵送でお送りしました。その他の方でも、昨年度、また 4 年前に類似の対話集会をしたおりに、アンケートに回答くださったみなさまで、e メールアドレスが分かっている方にもお送りしました。

アンケートをお渡しすべきであった方で、私どもの探索力が足らず、お渡しできなかった方がいらっしゃった場合には、申し訳ありませんでした。心よりお詫び申し上げます。



多摩市の社会教育を考える会

回答者リスト

(2019年3月27日正午以降30日まで到着分、敬称略。)

アンダーラインは現職の方)

~~17~~16 加藤松夫

~~18~~17 岩崎みなこ

~~19~~18 岩永ひさか

~~20~~19 岸田めぐみ

多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

お名前 加藤 松夫

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 — 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日（日）の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしくお願い致します。

1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

安心・安全な防災に強い優しい文化的な都市を目指します。

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。

まちづくりを進める上で、自治体が市民の自発的な活動を支えることは、重要です。

2. 多摩市政 — 特に社会教育施設の現状 — について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

中央図書館構想の具体化を進めていること

評価できないところ

市内地域図書館を縮小化しようとしていること

3. あなたは2.の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

市内地域図書館は、今後も存続させていきます。嘱託職員（全員司書の有資格者）による運営を中心とした直営方式で

4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の（1）（2）にお答えください。

（1）「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由

市民と対話といっても、これまでの無作為方式では、意味が無いとは言わないまでも、やはり現在の利用者の方々や今後利用される方々の声を、中心にすべきと考えます。要は、市側の特に教育委員会の姿勢に、基本的な哲学が有るかということです。

裏面に続きます。

(2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をするとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

①賛成である。	②反対である。	③何ともいえない。
理由		
市側に哲学が有るのかということ、統合・廃止を何としても進めるとい哲学のみが有ることでしょうか。		

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

①評価する。	②評価しない。	③何ともいえない。
理由		
図書館本館は、図書館行政を進める上で、重要かつ必然性がある構想であると考えます。		

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

管理・運営については、全て直営でなくても良いと考えますが、民間・NPO等に丸投げではなく、行政や教育委員会側に社会教育の哲学がしっかりと根付いていれば問題ないと思う。

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

活かされていると思う点
市民からの声をワークショップ等で広く聞く姿勢が見える。
活かされていないと思う点
問題の核心部分は、市側の方針が見え隠れしているように思える。

多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

お名前 山崎 けいこ

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 — 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日(日)の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしくお願いします。

1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

和が長く子どもの人権を守る暴力防止の活動をしてきたため

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。それをポイントと

人が人として生かされる根本的のところに考えます。 (注: 参考) ほしいと

2. 多摩市政 — 特に社会教育施設の現状 — について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

公民館がいろいろ課題はあっても活動は出ていること

評価できないところ

上記の課題の部分については、財源もかけてほしいこと

3. あなたは2.の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

定額の市民参加があるもの。もちろん、寄付も受け取りたい。大きな輪にするには、若い人に呼びかけるべきかと思っています。

4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の(1)(2)にお答えください。

(1)「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

- ①賛成である。 ②反対である。 ③何ともいえない。

理由 大事なことは市民が決める」といっているのか。生活者ネットワークの大きな柱としていることです。その整合性も重視しています。

(2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をす
し、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月
末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラ
ム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

<input checked="" type="radio"/> ①賛成である。	<input type="radio"/> ②反対である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 公民館を2ヶ所維持するために力を注ぐ より、市民が主体的に様々な活動をより 多様な場所で行うことが重要と考えます。		

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に
策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もお
こなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策
が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考
えますか。

<input type="radio"/> ①評価する。	<input checked="" type="radio"/> ②評価しない。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 地域図書館は(今後IT化が進み、社会 生活が変化していくことは否めませんか)大変重要 だと思っています。その視点を早く市民に態度を示す ことは必要だからです。		

6. 多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等)に求めら
れる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

公共、という考え方が重要と考えます。 つまり誰にも分かりやすく、平等、公平に市民主体 に決定していくべきと考えます。

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この
条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書き
ください。

活かされていると思う点 議員にたつてから強く思った点でもありますが、 この条例に違反していかぬのがバチは中々と働いて 気がします。
活かされていないと思う点 若い人、特に子育て世代が 条例の存在も含め 活かされてるとは言えないと思っています。

多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

お名前 岩永ひさか

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 — 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日（日）の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしく申し上げます。

1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

一人ひとりの生きる権利、生きる力を大切に、一人ひとりの多様性を尊重し合い、一人ひとりの居心地のいい場所を見つけることができるまちにしたいと考えています。

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。

「学び」は一人ひとりの人生を支え、豊かな暮らしをつくっていくために必要不可欠なことだと思います。暮らしに一番近い自治体が市民の文化やスポーツ活動も含め、「学び」を支えていく意義は大きいと考えています。民主主義を豊かに発展させていくため、下支えをするという意味でも重要なことです。

2. 多摩市政 — 特に社会教育施設の現状 — について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

場所づくりには熱心に取り組んできたと思いますし、市民がその場所を大事に活用しながら、その活動を広げてきたところ。

評価できないところ

市民を支える行政側の人材づくりには課題があると捉えています。また、たくさんの場づくり（建物建設）を進めてきた一方で、今はその場の持続継続が課題です。維持管理費問題を無視できないと考えていますがその現状を市民に共有する努力はまだ不十分と感じています。

3. あなたは2.の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

市民自身も、自分たちの置かれている状況、現実を正しくとらえながら、今後どうしていくべきかを話し合っていく必要があると思っています。市民の財産を市民が有効に活用するための仕組みや方法を考えていくべきです。

4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の(1)(2)にお答えください。

(1)「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由

「プログラム」の更新内容そのものを否定するわけではありませんが、財政的な厳しさが変わったわけではないと考えています。地域施設の問題については、市民との対話が進んでいるようですが、一方、パルテノン多摩の大規模改修、図書館本館の整備、コミュニティセンターの改修など大規模な予算を必要とする事業はどんどん前に進んでいます。今後、更新された内容のもと、どのように市民との信頼関係のなかで将来につなげていこうとしているのか、見えているとはいいがたい状況と受け止めています。そもそも財政の裏付けは示されていません。結果的に、市民との信頼関係を著しく損ねるようなことにならないかと危惧しています。

(2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をするとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

①賛成である。	②反対である。	③何ともいえない。
理由		
<p>「公民館」という機能が現状で果たしている役割を見つめ、そしてまた、今後、何を求めるのか？あるいは期待するのかについて、改めて議論することも必要なことだと考えています。今後のかたちを模索することも場合によっては必要なことではないかと考えています。その時に今のかたちにこだわらないという選択もあるかもしれません。</p>		

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

①評価する。	②評価しない。	③何ともいえない。
理由		
<p>本館の再整備については、その必要性があったと考えていますが、一方で地域図書館の今後に向けた取組みが明確になっていません。後回しになっているとは言いませんが、何となく問題を先送りにしたままになっているような気がします。図書館本館だけが立派になってしまうのでしょうか。市民からの意見を集める努力は一定評価しますが、しかし、身近な図書館の存続を願う市民のみなさんの声に向き合っているかどうかは疑問です。</p>		

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

<p>行政の果たすべき役割と責任を見失わないこと。ただし、時代や環境によって行政の守備範囲が変わることもあると思います。やはり市民の声をていねいに汲み取る努力が何よりも求められることだと思います。</p>

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

<p>活かされていると思う点</p> <p>市民の自発的な活動が尊重されており、文化活動やスポーツ活動も含め、とても活発だと思います。その点では自治基本条例の精神が活かされていると思います。</p>
<p>活かされていないと思う点</p> <p>社会教育施策そのものの企画や立案、そしてまた事業実施から実施結果の評価の各段階における市民参画・協働は十分とは言えないと考えています。</p>

多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

お名前 岸田 めぐみ

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 — 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日（日）の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしくお願ひします。

1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

住み心地のいいまち。— 全ての人々が等しく人権や生活権、自然環境が守られ、
大事なことは市民が決めるまち —

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。

市民の交流、コミュニケーションの場となり、市民の自治を支える

2. 多摩市政 — 特に社会教育施設の現状 — について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

多摩市ニュータウンなので、これらの施設が計画的につくられていること

評価できないところ

身近な施設を統合、廃止するのではなく 市民の生活に根ざした生活圏内で運営
していくことを望む

3. あなたは2の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

市民が運営していく

4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の(1)(2)にお答えください。

(1)「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由 市民がアンケートをとったり、議論を重ね、市民が主体となって動いていること
に対し、白紙に戻して市民と対話を行い、地域のニーズを把握し
ようとしているから

(2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をするとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由

なぜ「永山」ではなく、関戸公民館が「移転・統合」の対象になっているのか、疑問をもったから

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

①評価する。

②評価しない。

③何ともいえない。

理由

市民からの意見聴取がおこなわれたことは良かったと思っただから

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

- ・ 必要なものがあり、シンプルなもの
- ・ 市民が使いやすさ、柔軟な対応をすること
- ・ 子どものみの使用を認めてほしい

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

活かされていると思う点

実感としては活かされているが、市民の声を聞いて、施策に反映してもらうための市の姿勢

活かされていないと思う点

特に子どもが使うものに対しては、子どもの意見も聞いてほしい